

令和2年2月22日

令和元年度
遠野市わらすっこ議会
会議録

遠野市議会事務局

令和元年度遠野市わらすっこ議会





遠野市わらすっこ議員



遠野小学校 荒矢 悠希



遠野北小学校 小原 千慧



綾織小学校 仲宗根 千尋



小友小学校 遠藤 淳生



附馬牛小学校 佐々木美佳



青笹小学校 佐々木 彪希



宮守小学校 多田 倉人



達曽部小学校 多田 憂志



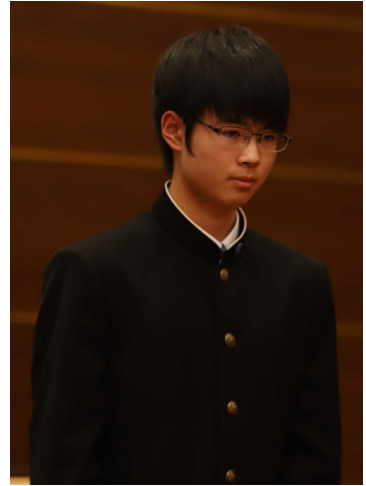
鱒沢小学校 阿部 琉也



遠野中学校 新田 隼斗



遠野東中学校 菊池 翼



遠野西中学校 菊池 稜真



遠野高等学校 菊池 早姫



遠野高等学校 菊池 夢乃

令和2年2月22日（土）遠野市わらすっこ議会会議録

1 招集の日時 令和2年2月22日（土）14：00から15：42まで

1 招集の場所 遠野市役所本庁舎3階 本会議場

1 議事日程

開会

第1 進行説明

第2 意見発表

No.	学校名	氏名	学年	No.	学校名	氏名	学年
1	遠野小学校	荒矢 悠希	6年	8	達曾部小学校	多田 憂志	6年
2	遠野北小学校	小原 千慧	6年	9	鱒沢小学校	阿部 琉也	5年
3	綾織小学校	仲宗根 千尋	6年	10	遠野中学校	新田 隼斗	3年
4	小友小学校	遠藤 淳生	6年	11	遠野東中学校	菊池 翼	3年
5	附馬牛小学校	佐々木 美佳	6年	12	遠野西中学校	菊池 稜真	2年
6	青笹小学校	佐々木 彪希	6年	13	遠野高等学校	菊池 早姫	2年
7	宮守小学校	多田 蒼人	5年	14	遠野高等学校	菊池 夢乃	3年

第3 総括

第4 発議案第1号

閉会

1 開会日時 令和2年2月22日（土）14：00

1 出席わらすっこ議員

議員 荒矢 悠希 君	議員 小原 千慧 君
議員 仲宗根 千尋 君	議員 遠藤 淳生 君
議員 佐々木 美佳 君	議員 佐々木 彪希 君
議員 多田 蒼人 君	議員 多田 憂志 君
議員 阿部 琉也 君	議員 新田 隼斗 君
議員 菊池 翼 君	議員 菊池 稜真 君
議員 菊池 早姫 君	議員 菊池 夢乃 君

1 欠席わらすっこ議員

議員 吉田 倅 辰 君	議員 佐々木 あゆな 君
-------------	--------------

1 出席市議会議員

議員 小松 正真 君	議員 佐々木 恵美子 君
議員 菊池 浩士 君	議員 佐々木 僚平 君
議員 小林 立栄 君	議員 菊池 美也 君
議員 萩野 幸弘 君	議員 瀧本 孝一 君
議員 多田 勉 君	議員 菊池 巳喜男 君
議員 荒川 栄悦 君	議員 佐々木 大三郎 君
議員 浅沼 幸雄 君	

1 欠席議員

議員 佐々木 敦緒 君	議員 菊池 由紀夫 君
議員 照井 文雄 君	議員 安部 重幸 君
議員 新田 勝見 君	

1 当局出席者

遠野市長 本 田 敏 秋 君
教 育 長 菊 池 広 親 君
教育部長 澤 村 一 行 君
こども政策課長 佐々木 真奈美 君

副市長 飛 内 雅 之 君

子育て応援部長 佐々木 一 富 君

1 事務局職員出席者

事務局長 新 田 順 子 君
主 査 及 川 憲 司 君

事務局次長 千 葉 芳 治 君

主 任 村 上 絵 理 君

午後2時00分 開会

議員紹介

○子育て応援部長（佐々木一富君） まもなく令和元年度遠野市わらすっこ議会を開会しますが、開会に先立ち、わらすっこ議員の皆さんを紹介させていただきます。

議席番号順に学校名と学年、お名前をお呼びしますので、「はい」という大きなお返事とともにご起立願います。

遠野小学校	6年	荒矢 悠希	議員
遠野北小学校	6年	小原 千慧	議員
綾織小学校	6年	仲宗根 千尋	議員
小友小学校	6年	遠藤 淳生	議員
附馬牛小学校	6年	佐々木 美佳	議員
青笹小学校	6年	佐々木 彪希	議員
宮守小学校	5年	多田 蒼人	議員
達曾部小学校	6年	多田 憂志	議員
鱒沢小学校	5年	阿部 琉也	議員
遠野中学校	3年	新田 隼斗	議員
遠野東中学校	3年	菊池 翼	議員
遠野西中学校	3年	菊池 稜真	議員
遠野高校	2年	菊池 早姫	議員
遠野高校	3年	菊池 夢乃	議員

以上、14名の遠野市わらすっこ議員の皆さんをご紹介させていただきました。

続きまして、本日ご協力頂いております遠野市側の出席者をご紹介申し上げます。

本田 敏秋 遠野市長です。

飛内 雅之 副市長です。

菊池 広親 教育長です。

澤村 一行 教育部長です。

佐々木 一富 子育て応援部長です。

次に遠野市議会議員を紹介しますが、お時間の都合上、議長のみご紹介申し上げます。

浅沼 幸雄 遠野市議会議長です。

なお、遠野市議会議員の皆様につきましては、後程、わらすっこ議員の意見発表の後に、お一人ずつコメントをいただくこととしております。その際に自己紹介をしていただきますのでご了承願います。

以上で、わらすっこ議員及び市側の出席者並びに市議会のご紹介を終わります。ありがとうございました。

まもなく、令和元年度遠野市わらすっこ議会を開会しますので、もう少しお待ちください。

市民憲章朗唱

○議長（浅沼幸雄君） 皆さん、こんにちは。開会に先立ち、市民憲章朗唱を行います。起立願います。朗唱は、わらすっこ議員、11番 新田隼斗君、お願いします。

〔わらすっこ議員11番 新田隼斗君登壇〕

○わらすっこ議員11番（新田隼斗君） 前段を私が朗唱しますので、後段を一緒にご唱和ください。

遠野市民憲章

わたくしたちは、悠久の時を越えて継承してきたうるわしい郷土と、伝統ある文化に誇りを持ち、このすばらしい宝玉（たから）を、さらに「永遠の日本（にほん）のふるさと遠野」として、創造・発展させるため、ここに、この憲章をさだめます。

わたくしたちは

1 豊かな自然を愛し、平和で住みよいまちをつくりまします。

1 心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくりまします。

1 創意をあつめ、産業と交流の元気なまちをつくりまします。

1 恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちをつくりまします。

1 共に考え支えあって、未来を望む協働のまちをつくりまします。

○議長（浅沼幸雄君） ありがとうございます。ご着席ください。

開会

○議長（浅沼幸雄君） 開会をわらすっこ議員 13番 菊池早姫君。お願いします。

〔わらすっこ議員13番 菊池早姫君登壇〕

○わらすっこ議員13番（菊池早姫君） これより令和元年度、わらすっこ議会を開会いたします。

諸般の報告

○議長（浅沼幸雄君） ただちに本日の会議を開きます。諸般の報告をいたします。

わらすっこ議員から発議案の提出がありましたのでお手元に配付しておきましたから、御了承願います。以上で諸般の報告を終わります。

○議長（浅沼幸雄君） これより本日の議事日程に入ります。日程第1、本日の議会の進行及び会期について報告をいたします。遠野市議会 教育民生常任委員長 菊池美也君。
〔7番菊池美也君登壇〕

○教育民生常任委員長（菊池美也君） 命によりまして、遠野市議会としてわらすっこ議会を担当する教育民生常任委員会の報告をいたします。令和元年度遠野市わらすっこ議会の会期は、本日1日間といたします。次に、本日のわらすっこ議会の進行について説明いたします。お手元に配布しております日程に従い、わらすっこ議員全員が意見発表を行います。意見発表の場所は、ここ、答弁者席になります。そして、わらすっこ議員1人の意見発表に対し、遠野市議会議員が一人、自席から感想を述べます。すべてのわらすっこ議員の意見発表が終わりましたら、遠野市教育委員会教育長、遠野市長、遠野市議会議長が自席からわらすっこ議会全体についての総括の感想を述べます。最後に、わらすっこ議員発議案、わらすっこ宣言が提案され、採決をとります。わらすっこ宣言の採決は、表決システムで行いますので予め、表決システムを確認してください。傍聴人にお知らせいたします。会議中は、お静かに願います。議場における言論に対して、拍手その他の方法により、傍聴人の意思を表明しないでください。また、会議中の写真撮影、録音等は許可を受けた者に限りますので、ご了承願います。ご参会の皆様のご協力をお願い申し上げ、遠野市議会教育民生常任委員会の報告とさせていただきます。

○議長（浅沼幸雄君） ただいまの教育民生常任委員長から報告のあったとおり、令和元年度遠野市わらすっこ議会の会期は、本日1日間といたします。

意見発表

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第2、意見発表についてを議題といたします。わらすっこ議員、全員から、意見発表をしていただきます。

今年度、2回にわたるわらすっこ会議において、市内小中学校、高校から17名の委員が集まり、「生まれ育った遠野への想い」や「自分の他、地域の小さなこども、大人のことを考え、遠野の今と未来を考える」と題して意見交換し、発表を積んできております。本日は、その会議の成果とこれからの遠野を担っていくこどもたちにより未来を創造し、存分に夢を語ります。発表は一人ひとり、番号順に行います。

わらすっこ議員の意見発表の後に市議会議員から感想等コメントを述べます。市議会議員からのコメントは、自己紹介も含めておおむね2分程度で行ってください。

それでは順次、意見発表を許します。1番 荒矢悠希君。

〔わらすっこ議員1番 荒矢悠希君登壇〕

○わらすっこ議員1番（荒矢悠希君） 遠野小学校6年、荒矢悠希です。ぼくは、遠野の未来は、今よりも子どもの人数が多くなって自然を生かした公園などが増えてにぎやかになっていたらいいなと思います。

そのためにできれば将来遠野で仕事をして、そういう場所をつくる人たちに少しでも関わり、だれかを元気にしたり助けたりできるようになりたいです。あと、ぼくが行っていたスポーツ少年団では、チームのみんなで町のごみひろいをするという活動がありました。そういう活動を見かけたらインターネットなどを通して地域に広げていって遠野のスポーツを少しでも有名にしていきたいです。また、遠野のイメージアップをはかるための運動場や、スタジアムなどができたら子どもたちや、地域の人たちなど、いろいろな人がよろこぶと思います。このような運動ができる施設をつくっていくことにも関わっていききたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。

発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。7番 菊池美也君。

○7番（菊池美也君） 菊池美也です。荒矢悠希議員の発表を聞いて、とてもスポーツが好きなのが伝わってきました。私も、スポーツはやること、観ること好きです。中でも、野球が大好きです。今年2020年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されま

す。世界中からアスリートが集い、競い合い、私達に感動を与えてくれるでしょう。遠野でも、6月19日に本庁舎からサッカー場まで聖火がリレーされます。また、パラリンピックの5人制サッカー、ブラジル代表チームがもう一度遠野に来て、合宿を開いてくれます。悠希さんは、遠野の未来に、子どもたちの人数が多くなって、にぎやかになって欲しいと発表してくれました。本当にその通りだよね。「子育てするなら遠野」の大きな大きなエールをいただきました。悠希さんの想う遠野の将来像に少しでも近づくことができるように、大人として、議員として、しっかり取り組もう、がんばろうと改めて思いました。最初の発表、トップバッターということでも緊張したことと思うんですけども、とても立派でした。悠希議員の発表はとても素敵でした。ありがとうございます。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、2番 小原千慧君。

〔わらすっこ議員2番 小原千慧君登壇〕

○わらすっこ議員2番（小原千慧君） 遠野北小学校6年、小原千慧です。ぼくの祖母は、釜石市で、東日本大震災にあい、津波で家を無くしました。しかし、遠野市の後方支援のおかげで住む場所も見つかり、たくさんの支援を受けることができました。ありがとうございます。この勇気ある行動と、迅速な判断と、対応は、ぼくが目指している医師と共通しているところがあります。ぼくは、将来、医師になりたいと考えています。できれば、産婦人科か小児科になりたいと考えています。それは、遠野には、産婦人科の病院がなく、出産を他の市でしている人がいるからです。小児科も県立病院にあります。土日診療しているわけではなく、ほとんどの子どもは、内科や皮膚科の病院にお世話になっています。このままでは、「子育てするなら遠野」と掲げているものが崩れてしまいます。だから、ぼくは医師になって本当に安心して子育てができる遠野にしたいと思っています。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。5番 佐々木僚平君

○5番（佐々木僚平君） 佐々木僚平です。小原千慧さんのおじいさんとおばあさんの家

が、東日本大震災の津波によって流されたとのこと、心からお見舞い申し上げます。遠野市の後方支援のおかげでしたと発表してくれましたね。こちらこそ、ありがとうと言いたいと思います。

後方支援は、沿岸の町へ1時間という地理的なものもありますが、やはり、昔からの交流があつてのことであつたと思います。小原千慧さんが将来、医師になりたい、安心して子育てができる遠野にしたい、と発表してくれました。でも、お医者さんが少なくなってきて今のままでは心配だと、このようにも発表してくれました。大人顔負けの素晴らしい捉え方でとても関心いたしました。小原千慧さん、夢に向かってあきらめず、頑張ってください。ありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、3番 仲宗根千尋君。

〔わらすっこ議員3番 仲宗根千尋君登壇〕

○わらすっこ議員3番（仲宗根千尋君）

綾織小学校6年、仲宗根千尋です。私は、遠野で、自分が何ができるかと、将来、遠野で、どんな仕事をしたいかを考えてみました。

まず、私は、いまの遠野を残していくために、受け継がれてきた文化や、伝統を、この先産まれてくる子どもたちに、伝えていくということを考えました。また、わらすっこ議会のような会があつたら、自分から、積極的に参加していきたいと思っています。このような機会に参加することで、未来の遠野について、さまざまな年代の人と、意見を、交流し合えると思います。

つぎに、自分の将来についてです。私は、将来、はっきりした夢は決まっていますが、遠野市民の人にたずさわれる仕事や、遠野の環境に関わる仕事がしたいと思っています。

なので、私は、遠野に少しでも、関わられるような仕事をしたいと考えています。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。1番 小松正真君

○1番（小松正真君） 小松正真でございます。仲宗根千尋議員、大変緊張されたと思いますけれども、お疲れ様でございました。先ほどのお話の中で、将来何になりたいか、

はっきりとした夢は、いまのところ持っていないというお話でございましたが、ちょっと漢字は、仲宗根議員とは漢字は違うんですけども、その昔、中曽根総理大臣という、日本ですごくえらい方がいらっしゃいました。今後です、ね、一生懸命勉強していただいて、その中曽根総理大臣みたいにビッグな人間になっていただいて、ぜひ、遠野のための仕事をしていただきたなというふうに思うところでございます。また、受け継がれてきた文化、伝統を将来に伝えていく。これ、すごく大事なことだと思います。今後も__仲宗根議員は、遠野のことがすごく大好きなんだと思うんですよ。なので、今後もその大好きな遠野を是非、今後に伝えていっていただければというふうに思います。私たち遠野市議会も皆さんが今後遠野に住み続けたいというまちなるように、精いっぱい頑張ります。今後もいっぱいお話ししましょう。きょうはお疲れ様でございました。ありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、4番 遠藤淳生君。

〔わらすっこ議員4番 遠藤淳生君登壇〕

○わらすっこ議員4番（遠藤淳生君） 小友小学校6年、遠藤淳生です。ぼくが遠野の未来を創っていくときにどんなことができるか考えてみました。ぼくは将来、工業デザインを学んで、新しい車の製造に関わる仕事してみたいと思っています。そこで環境に良い車を開発したいです。さらに、遠野のために自分ができることを考えたとき、学んだデザインの知識をいかして誰でも楽しめる公園をデザインしてみたいと思います。遊具やアスレチックを設計して親子やお年寄りが集まり楽しめる場所を作りたいと思います。

また、将来ぼくは農業もしたいと思っています。小学校で田んぼでの米作りをした経験があります。また、小友町では無肥料・無農薬での米作りを行っている方もいることを学びました。自然の中で働く楽しさややりがいを学ぶことができました。

遠野でみんなが楽しめる場所をデザインしたり、農業をして地域の産直などで販売したりしながら、自然と親しみながら生活していける場所をつくるのがぼくの夢です。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、

市議会議員から感想等コメントを申し述べます。2番 佐々木恵美子君

○2番（佐々木恵美子君） 佐々木恵美子です。遠藤淳生議員から遠野の未来を創るために自分がどんなことができるか考えて発表していただきました。自分がこうしていくんだという内容は、前に進む力を持っている淳生議員を感じました。淳生議員は、遠野が大好きでいてくれ、また、その遠野がもっと楽しくなることを考えてくれました。環境に良い車の開発。いまの遠野は、買い物や病院や学校、どこに行くにも車がないと行けません。ですから、たくさんの車が走る遠野では空気が汚れないような燃料で走る、環境に良い車をみんなで乗れることは、遠野の自然にもすごい良いことだと思います。淳生議員の車は、遠野だけではなく、地球全体にも良い車だと思います。世界中から注文が来ると思います。大変楽しみです。できれば、その車を作る工場を遠野に作れたら良いですね。親子やお年寄り、だれでも楽しめる公園のデザイン、淳生議員のデザインする公園が完成するときには私はお年寄りになっていると思いますが、元気で長生きしたいので、お年寄りになってもアスレチックで体力づくりをしたいです。淳生議員の住む小友町の大人の方たちは、恵まれた自然、環境を活かして農業の楽しさを伝えていたと思います。食べ物がなくて人は生きていけません。心強いです。自然と親しみながら生活していける場所をつくりたいという夢や子どもたちの夢を実現するために、私たちも未来の遠野について一緒に考えながら活動していきたいです。ありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、5番 佐々木美佳君。

〔わらすっこ議員5番 佐々木美佳君登壇〕

○わらすっこ議員5番（佐々木美佳君） 私は、遠野の良さを伝えるために、4つのことをしたいと思います。

1つ目は、自然を守る取り組みをしたいです。遠野は森林が多く、緑豊かだからです。

2つ目は、挨拶をして、地域の人や、町の人との輪を広げていきたいです。

3つ目は、文化や伝統に触れていきたいです。私は神楽をやっているのですが、人が少

ないその中でも、東京の方に手伝ってもらい、交流をすることができたので、遠野テレビや、新聞などで、広めていきたいです。

4つ目は、私は雑貨などを見るのが好きなので、遠野にある雑貨店を広めていきたいです。

大人になり、私は遠野で、料理を作る仕事に就きたいです。アレルギーなどを考え、お年寄りから小さい子供まで様々な人が食べられるような物を作りたいです。また、見た目からも楽しめるようなものを作りたいです。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。3番 菊池浩士君。

○5番（菊池浩士君） 菊池浩士でございます。美佳議員は、遠野の良さを伝えるためにする4つの事を発表してくれました。一つは、遠野の自然を守る取り組みをしたい。緑豊かな遠野の風景が好きなんです。これを守っていく活動にどんなことがあるのか、これから勉強して行ってください。二つ目は、挨拶で地域の人や町の人たちとの交流の輪を広げていきたいとのこと。このことは、自分が始めればすぐにできます。自分が始めることで、その輪がどんどん広がっていくと思います。始めてみてください。三つ目がと、遠野の文化や伝統を広く知ってほしい。美佳議員も神楽をやっているんですね。こどもの数も減っている現在ですが、いろいろな人の力を借りて、これを続けて行ってほしいと思います。四つ目は、雑貨を見るのが好きなので。美佳議員が雑貨店を開いてくれるのであれば、遠野の町もにぎやかになってくれると思います。最後に、アレルギーを持つ人でも大丈夫な料理を作りたい。こういう夢があるようですね。すごく頼もしいと思います。そのために、いっぱい勉強しなければならぬと思っていることも伝わります。これから夢を実現できるように頑張っていてください。きょうは、素敵なお発表ありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に6番 佐々木彪希君。

〔わらすっこ議員6番 佐々木彪希君登壇〕

○わらすっこ議員6番（佐々木彪希君）

青笹小学校の佐々木彪希です。ぼくが遠野の未来について考えたことが2つあります。1つ目は、遠野を便利で住みやすい町にすることです。自然をなくさないようにすることを大切にしたいし、お年よりにやさしい、楽しくふれ合えるまちになってほしいと思います。

2つ目は、遠野の人口を増やすための取組をすることです。東京などの都会で遠野の名物を紹介するなど遠野の魅力を発信し、人口を増やすことにつなげられればよいと思います。

ぼくの夢は、遠野の人たちに役立つような仕事をするのと、バスケットボールの選手になることです。自分のふるさとである遠野を大切にしながら夢に向かってがんばっていききたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。6番 小林立栄君。

○6番（小林立栄君） 小林立栄です。彪希さんが生まれ育った遠野を、遠野に住むみんなのことを本当に大切に思ってくれているんだなということが感じる事ができました。本当にうれしく思います。彪希さんから2つの大事な考えを伺いました。一つ目について。彪希さんは、SDGsという言葉をご存知ですか。SDGsという世界の多くの国々、みんなで決めた目標があります。ごみや食べ残しを減らして、環境破壊を減らして、自然を守って、こどもの高齢者も若い人も男性も女性も、障がいのある方、無い方、みんなが一人ひとり自分らしく安心して生きていく社会を作っていこう。そういった目標があります。彪希さんの考えと同じです。世界中のみんなと協力をしながら私も頑張りますので、彪希さんは、彪希さんができると一緒に遠野の未来を創っていきましょう。2つ目、関係人口という言葉があります。遠野には住んでいなくても、何度も何度も遠野に遊びに来てくれる人。遠野で作ったおいしいものをいつも買ってくれる人。遠野に住んでいなくても、遠野のことが好きで、遠野のことを思って、遠野を応援してくれる人。そういった人たちのことを関係人口と言います。いま、この関係人口を増やしていこう。国も、県も遠野市も一生懸命取り組んでいます。彪

希さんの考えのとおり、まだまだ、もっともっと力を入れて取り組む必要があるなど感じています。何か具体的なアイデアがありましたら私たちにもぜひ教えてください。それでは、彪希さん。いっぱい勉強をして、いっぱい本を読んで、いっぱいバスケットボールをして、いっぱい遊んでこれからも夢に向かってがんばってください。以上、コメントいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 次に7番 多田蒼人君。

〔わらすっこ議員7番 多田蒼人君登壇〕

○わらすっこ議員7番（多田蒼人君） ぼくは、遠野市立宮守小学校5年の多田蒼人です。

バスケットボールが得意です。小学校では、6年生から児童会長をやります。

わらすっこ会議に参加して、遠野の未来を考えました。医師不足、人口が減って高齢者が増える、交通の便が悪くなると、考えました。

ぼくが、遠野のためにできることは、社会貢献だと思っています。そして、いま、自分にできることは、人との繋がりを深めるために、地域の人に声をかけることや友達にあいさつをすることです。遠野・宮守住んでいる地区の行事に参加して、もっと福祉・観光・環境・文化を知ることです。将来の夢は医師になることです。小学校3年生のときに手術をした経験があるからです。人の助けになる職業をしたいです。遠野に住んでいる人たちにとって、思いやりのある町になってほしいです。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。8番 萩野幸弘君。

○8番（萩野幸弘君） 萩野幸弘です。ただ今は、宮守小学校の多田蒼人議員から、遠野の未来に向け、希望に満ちた力強いご意見、ご提言を承りました。ありがとうございます。ご自身が3年生のときに手術を受け、改めて医師のありがたみを実感した経験から自分も医師になって人の役に立ちたいと強く心に秘めたその思いが、私にもひしひしと伝わってまいりました。さらには、自分が医師になることだけではなく、医師として社会貢献をし

たいというその思い、そしてそのために今からできることとして、地域の人や友人に声をかけるとか、地区行事に積極的に参加をして、様々な分野の実情を知りたいという具体的な目標まで発表されました。とても素晴らしい発表だったと思います。蒼人議員のご指摘通り、遠野市は現在、医師不足や高齢化が課題となっています。従いまして、私たち議員も蒼人議員が将来必ずや医師として地域に貢献していただけるよう、今からしっかりと応援していきたいと思います。頑張ってください。ありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、8番 多田憂志君。

〔わらすっこ議員8番 多田憂志君〕

○わらすっこ議員8番（多田憂志君） 達曾部小学校6年、多田憂志です。ぼくは、遠野で働くなら、野球の物を取り扱う店で働きたいと考えています。ぼくは、達曾部のスポ少に入っていて、グラブを買うとき、北上などに行くからです。近くにあればみんなが気軽に来れるので、そういうお店に働きたいです。そのことで運転する必要もなく、地球温暖化を防げることができます。一石二鳥です。遠野の野球は、中学校が県で優勝したりして、すごく盛んだと思います。だから近くにあれば、とても便利です。その仕事に就いたら、どこのだれよりも優しい声でしゃべって、人気度を上げます。そうするとお金も稼げます。だから、遠野では野球の物を取り扱う店に働きたいです。終わります。

○浅沼幸雄議長 わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。9番 瀧本孝一君。

○9番（瀧本孝一君） 多田憂志議員と同じ達曾部の瀧本孝一です。野球スポーツ少年団に入っている多田憂志議員から将来、野球用品を扱う店に就きたいと発表がありました。私も小学校、中学校と野球をやっていました。そして、大学生時代には、あの「巨人軍は永久に不滅です」という長嶋茂雄さんの引退試合も生で見ることができました。憂志議員の発表は、野球が楽しいから、この楽しさを自分より小さい子どもたちにも伝えたいという気持ちがあふれていました。そのうえ、環境問題のこともちゃんと考えていてくれたこと

に感心をしました。その気持ちを私は応援します。野球が好きなお子さんが思い切り野球ができるように、バスケットボールが好きなお子さんは、思いっきりバスケットボールができるように、その環境づくりに取り組んでいかなければならないと改めて思いました。もし、憂志議員が将来スポーツ用品を取り扱うお店で働いていたならば、私が元気で生きていた時は、何か運動用品を買いに行きたいと思えます。その時はよろしくね。夢に向かってがんばってください。今日はありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、9番 阿部琉也君。

〔わらすっこ議員9番 阿部琉也君登壇〕

○わらすっこ議員9番（阿部琉也君） 鱒沢小学校5年の阿部琉也です。ぼくが、これまでの生活の中で見つけた夢は、本を書く作家になることです。たくさんの人にぼくが書いた本を読んでもらい、元気になってほしいです。しかし、ぼくはいろいろやっていることがあり、その中から違う夢が見つかるかもしれない。ぼくは、その夢が遠野のためになればいいなと思います。

そして、これからの遠野を守るために、ぼくがやっていきたいことはたくさんあります。その中で特にやっていきたいことは2つあります。

1つ目は、郷土芸能を残すことです。ぼくの住んでいる鱒沢地区では、地区ごとに神楽をやっています。しかし、だんだん人が減って来ています。だから、これからは2つの地区を合同にするように呼びかけたいと思っています。

2つ目は、遠野を紹介することです。遠野では、人口が減ってきています。そのため、遠野の良さを紹介する機会があれば進んで参加したいです。そのほかにも、自分たちで紹介する企画を考えていきたいと思えます。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。10番 多田勉君。

○10番（多田勉君） 同じ鱒沢の多田勉でございます。ただ今、阿部琉也議員から将来の素晴らしい夢を発表していただきました。まず、作家になりたいと琉也議員もご存じだ

と思いますけれども、芥川賞作家の若竹千佐子さん。遠野市上郷町の出身であります。どうかですね、琉也議員の夢がかなうように頑張っていたきたいと思えますし、私も一生懸命応援してまいります。そして、次の話の発表の中に神楽のこともありました。私も琉也議員と同じ鱒沢の人間でございますので、偶然めぐりあわせでもございませぬけれども、阿部琉也議員そして私の地域には鱒沢神楽と白山神楽があります。最近、後継者の確保が非常に難しい状況でございます。是非、これからは阿部琉也議員と一緒に、神楽を一緒になって舞っていただきたいというように期待をしております。そしてまた、鱒沢小学校では獅子踊りの継承活動に一生懸命取り組んでおります。琉也議員もその一人であります。これからの地域が寄せる阿部琉也議員の活躍に心から期待をして、私のコメントとさせていただきます。大変ご苦労様でした。

○議長（浅沼幸雄君） 10分間休憩します。

休憩 午後2時50分

再開 午後3時02分

○議長（浅沼幸雄君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。次に、10番 新田隼斗君。

〔わらすっこ議員10番 新田隼斗君登壇〕

○わらすっこ議員10番（新田隼斗君） 遠野市立遠野中学校3年、新田隼斗です。私は遠野の良さを発信し、自ら伝える力をつけたいと思えます。今、インターネット、SNS等が普及している現在の特徴を利用し、私たちが暮らす遠野市の観光地、文化、主に郷土芸能、料理、遠野物語を発信したいです。そうすれば、他の地域の人たちに興味を持ってもらい、観光客も増え活発な街になり、人口も増加すると思えます。また、インターネット、SNSは手軽にできるし、今の学生は、利用者が多いので、沢山の人が取り組めると思えます。

私は、これから教員を目指したいと考えています。教師という立場になって、「自分のやりたいことを貫き通していくこと」を伝えたいと思っています。そうすれば、自分の夢を大切にしていく子ども達が遠野市内で多くなると思えます。新しいことをするのは、私

は得意ではないけれど、そういうことをしてくれる次の世代の人がたくさん増えればいいと私は思っています。教師になるという夢を実現できたら、学校での総合学習や、今回のわらすっこ議会の経験を活かして、遠野の良さを伝えたいし、また、中高生と遠野市の交流がさらに活発にできるようにしたいと考えています。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。12番 菊池巳喜男君。

○12番（菊池巳喜男君） 菊池巳喜男です。ただ今、新田隼斗議員から遠野の良さを発信するため、SNSを積極的に使い、他の地域の人たちに興味を持ってもらい、観光客を増やしたいと発表がございました。インターネット、SNSの利用は、これから益々普及していくものと我々も考えています。新田隼斗議員の世代には、スマートフォン、パソコンが当たり前でそういう時代になると思います。私たちの世代は、その進化を肌で感じ、そしてあまりの速さに戸惑いを感じているところでもございます。その流れを止めようもなく、これから益々私たちの生活に入っていくものと考えております。現在は、AIそして仮想通貨、ビットコイン、ブロックチェーンなど人類の未来を変える5Gの時代に突入しようとしております。この議会も、もしかしたらブロックチェーンが発達して、変革していくかもしれません。その未来を築いていくのは、君たちの時代だと我々は信じております。現在は、東京一極集中時代でございますが、これにより地域もますます発展していくのではないかなと思っております。ご苦労様でした。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、11番 菊池翼君。

〔わらすっこ議員11番 菊池翼君登壇〕

○わらすっこ議員11番（菊池翼君） 僕は、前は建築の仕事をしてみたいと思っていました。しかし最近、自分の遠野で過ごしてきたことを考える機会があり、今までぼくは遠野の地域の方々から受けてきた恩恵というものについて考えました。その結果、建築の仕事をしてみたいという夢から、高齢者が増え、災害が多くなっていく時代に入ってきていることを踏まえ、そのような事から、今までお

世話になった方々の日常や命を守ることができるよう自衛官になりたいという新しい目標ができました。

自衛官になると、直接遠野市と関わることは少なくなると思いますが、勤務先などで遠野市の魅力を少しでも発信できたらいいなと思っています。いまの遠野市は子育て支援にも力を入れていると思います。しかし、高齢者も多くなっていくと思うので、これからは高齢者が住みやすいまちづくりということにも力を入れていくべきだと思います。又、少なくなっていく若い世代もとても重要になっていくと思うので、高校などの魅力化も一つの分野だけではなく、一つの分野に特化してしまうのではなく、様々な分野で、一つずつ魅力を作っていく、他の地域からの入学者などを集め、地域の活性化に繋げていければいいなと思います。また、高速道路も通り、内陸から沿岸への交通も発達してきています。なので、この地の利__地形の利を利用し、新たな企業の誘致などにつなげていくことで、さらに遠野市の魅力度が上がり、人が集まる地域密着型の学校、企業があるととてもいい町になっていくのではないかなと思います。また、私は伝統芸能をやっていますが、伝統芸能の中でもとても子どもが少なく、後継ぎがあまりいないという状況がいまの現実です。なので、学校などで郷土芸能についての理解を深めることもとても大切だと思います。ぼくもいずれは遠野に戻ってきて、自分の経験を遠野市に還元できるように頑張っていきたいです。また、様々な年代、様々な国籍の方々から愛される「永遠の日本のふるさと遠野」というキャッチフレーズに劣らない素晴らしいまちが作れるように、これからの時代を生きる一員として、頑張っていきたいと思っています。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。14番 荒川栄悦君。

○14番（荒川栄悦君） 議員の荒川栄悦でございます。私は、いま70歳でちょうど56年前、中学校3年のときは、東京オリンピックの年でした。そういう隔世の感があって、全然違うなど。ぼくが子どものころは、毎日野山で遊ぶ。これが一番で、いやな農作業の手

伝いも逃げていたという思いだけがありました。そういった中で、翼議員はしっかりと将来を見つめ、建築家それから自衛官という考え。どちらにしても人に役に立つ仕事、大いに意義のあることだと思っております。また、高齢者を大事にしたいという思いがこの発言からも聞き取れました。私もあと5年で後期高齢者です。是非、大事にしてもらいたいと思います。また、「子育てするなら遠野」ということ、遠野市もずっとやっています。

「わらすっこ条例」というのもあります。皆さんも「わらすっこ条例」という言葉、聞いたことあるかと思います。皆さん4つの権利を保障しています。一つは、安全に安心して生きる権利。一つには、豊かに育つ権利。一つには、自らが守られる権利。最後に、参加する権利。きょうのような意見を述べることで、これは参加する権利の中に保障されています。それだけ皆さんはここで元気ですくすくと育って、世に出て、遠野で岩手県で日本で世界で活躍できるようになってもらえれば非常に良いことだなと。それを振り返って、遠野のためになることではないのかなと私は素晴らしい発言だなと思って聞いておりました。時間です。本当にありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、12番 菊池稜真君。

〔わらすっこ議員12番 菊池稜真君登壇〕

○わらすっこ議員12番（菊池稜真君） 遠野西中学校2年の菊池稜真です。自分は、将来遠野で消防士になりたいと思っています。消防士は、人を助けるという今の社会に欠かすことのできない重要な仕事です。人を助けるという事は、他の人からの信頼が必要です。信頼を得るためには、笑顔が最も大切だと思います。専門学校卒業後は遠野に帰って来て、遠野の消防署で働きたいと思っています。また、自分が思う未来の遠野は、医療が今よりも発達し、こどもからお年寄りまで元気に過ごせるような住みよい遠野になってほしいと考えています。そんな安心して暮らせる遠野になるように貢献したいと思っています。以上です。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。17番 佐々木大三郎君。

○17番（佐々木大三郎君） 佐々木大三郎でございます。菊池稜真さんの将来の夢は、遠野で消防士になりたいという事でした。発表から遠野市の消防が市民の信頼を得ているということがよくわかりました。稜真さんの夢を応援したいと思います。将来、消防士の制服を見た笑顔の、笑顔の稜真さんに会えることを楽しみにしております。必ず遠野に戻ってきてください。そして、ご活躍を期待しております。以上です。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、13番 菊池早姫君。

〔わらすっこ議員13番 菊池早姫君登壇〕

○わらすっこ議員13番（菊池早姫君） 遠野高校2年、菊池早姫です。私は、遠野市にある公園を皆さんにもっと幅広く知ってほしいです。調べてみると、遠野市の公園は37施設あります。知られていない公園が数多くあることがわかりました。

そこで、公園を“増やす”のではなく、“再利用”してもらいたいです。昔からある公園のため、遊具の修理や地面の整備などに費用がかかると思いますが、アスレチックや体幹が鍛えられる遊具があればもっと公園で遊ぶこどもが増えると思いました。また、電灯が少ない公園があるので誰もが安心して使える公園があればいいと思います。

私は将来、保育士兼幼稚園教諭になりたいです。小さい子どもを世話したり、一緒に遊んだりすることが好きでいつの間にか保育者という存在が憧れになりました。

また、保育者は子どもたちと一緒に成長できたり、やりとげたりできる職業だと思います。

最近、保育士や幼稚園教諭が減少傾向であり人手不足になっているとニュース等で取り上げられています。保育者は決して楽な仕事ではないと思います。それでも私は、保育者として数多くの人に“ありがとう”と言われる人材になりたいです。そして、いつかは遠野市に戻り、たくさん支えてもらった分、今度は自分が支える番として遠野市に貢献していきたいです。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。3番 菊池浩士君。

○3番（菊池浩士君） 菊池早姫議員には、遠野市の公園について具体的な提言をいただきました。公園整備の必要性は、市議会でも話題になることがあります。私には6人の孫がいます。家族で公園に行くこともあります。近隣の市町村には、整備された素敵な公園がいくつかあります。残念ながら遠野市では、まだそういった整備は遅れています。若い視点での今回の提言については、市議会としても取組んでいかなければならないと感じたところでもあります。早姫議員は、保育士になりたいという夢があるようですね。いま、保育士が不足しているという現状や決して楽な仕事ではないという認識がしっかりできています。こどもは未来の宝です。その成長にたずさわるとても大事な仕事です。早姫議員であればできると思います。保育者として多くの人にありがとうと言われるように頑張るといふ決意を私は応援します。きょうは、ありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、14番 菊池夢乃君。

〔わらすっこ議員14番 菊池夢乃君登壇〕

○わらすっこ議員14番（菊池夢乃君） 岩手県立遠野高等学校3年、菊池夢乃です。私は、未来の遠野市が市民の愛で溢れ、平和で活気ある街になればいいなと考えています。そのために、一市民として私が共に意見を出し合い、もっと意見を発信するべきだと思いました。私は、高校2年生から2年間、遠野市わらすっこ支援委員会の一員として活動させていただきました。委員の皆様との意見交換の中で、刺激を受けることや、これまでに遠野市が行っていた施策が思っていた以上に数が多く、活動されていることに気づきました。まさに「子育てするなら遠野」というフレーズに見合った支援がされていることに気づくことができました。このような貴重な経験をもとに、自分自身の声で思いを伝え、遠野市の方々に改めて理解を深めていただきたいのと、もう一度、子育て世代に魅力を見つめ直すきっかけとして、遠野市全体が子育てを応援、サポートしているという事を発信したいと考えています。遠野は自然豊かで平和で温かいまちです。又、伝統や文化が息づく日本のふるさとであり、これから継承していくでしょう。遠野の恵まれた財産を守り、子

どもたちの希望と夢を育むまちに私が貢献していきたいです。以上です。

○議長（浅沼幸雄君） わらすっこ議員からの発表が終わりました。発表内容について、市議会議員から感想等コメントを申し述べます。8番 萩野幸弘君

○8番（萩野幸弘君） 萩野幸弘でございます。ただ今は、菊池夢乃議員より、高校2年生からの2年間、遠野市わらすっこ支援委員会の一員として活動した経験から、遠野市が行われている施策が思っていた以上に多かったと発表されました。その気づきを自らの声で発信して、市民の理解度を深めていきたいという決意も述べられ、さらには、子育て世代に遠野の沢山の施策の魅力を再認識していただきたいと力強く訴えていただきました。そして最後には、遠野の恵まれた財産を守り、子どもたちの希望と夢を育む街になるよう自分が貢献していきたいとおっしゃいましたが、その決意を大切にせずやその思いが実現することを願っております。夢乃議員をはじめ、わらすっこの皆さんは遠野にとってかけがえのない財産であります。いきいきと活動するわらすっこのために、私たち大人は考え、見守り、寄り添い、しっかりと支えて参ります。本日、このわらすっこ議会では、14人の議員の皆さんからたくさんの夢が発表されましたが、発表で共通していることに、皆さんが遠野を好きなこと、そして遠野の自然・文化・郷土芸能が好きで大切に伝えていきたいと考えていることがよくわかりました。私たち議員は、皆さんたちをがっかりさせないよう、より一層頑張ってまいります。わらすっこ議員の皆様も、本日発表していただいた夢と希望を今後も持ち続けていただき、遠野の未来に希望をもたらしていただけることを心から願っております。貴重なご提言、誠にありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 以上で、わらすっこ議員全員からの意見発表を終了します。

総括

○議長（浅沼幸雄君） 次に日程第3、意見への総括に進みます。総括は、教育長・市長・議長の順に申し上げます。菊池教育長。

○教育長（菊池広親君） 教育長の菊池でございます。まずは、わらすっこ議員の皆さん

ん。今日は土曜日ですけれども、出席して下さってありがとうございます。それから傍聴席でお聞きになさっているご家庭の皆さん、それから学校関係の皆さん、関係機関の皆さん、日頃からのご支援とご協力に感謝を申し上げます。きょうですね、わらすっこ議員さんの意見発表を聞いて率直に思ったのは何かというと、皆さんの頼もしさです。これからの遠野又は岩手県なり、日本、世界。そういうふうな世界を今後担っていくあなたたちが、自分の考えを、しかも根拠をもって、そして自分の経験も生かしながらそういうふうな発表をして下さったということが、非常に頼もしく感じました。例えば、いま遠野市の課題というのがある、その課題が医療なり、福祉なり、少子高齢化なり、環境なり、そういうふうな切り口を自分なりの経験と学習してきたものを使って、結論を導いている。こういうふうな考え方の営みというのは、非常に大切に、これは大人になっても変わらないものだというふうに私は思っています。どの視点をどういうふうに考えていくかという事は、それぞれの皆さんの経験というのが大きく作用すると思います。そういう面で言うと、小学生の皆さんの発表、中学生の皆さんの発表、高等学校の皆さんの発表、それぞれその発達段階に応じた__いや、それよりももちろん高いレベルの発表をしてもらっているのですが、それをこの場で聞くことができるという事も皆さんの経験値が上がる一つであろうというふうに持っております。皆さん夢の中で、例えば、医者になりたい、あとは車の製造、あとはスポーツ店、作家、教師等々明確な自分の夢を持っているということが分かりました。私はいま、教育委員会の責任者になっています。皆さんの夢をかなえるために、教育委員会ができること、つまり学校ができることというのは、本当に多くあるんだろうなというふうに思います。皆さんの持っている夢。チャンスを広げるようこれからも努力してまいりたいなというふうに私個人的には思ったところがございます。きょうはありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、本田市長。

○市長（本田敏秋君） 議長から指名をいただきまして、発言の機会をいただきました。わらすっこ議会、議員の皆様から大変貴重な

意見、提言いただきました。昨日、事前通告を受けた皆さんの意見、提言読ませていただきました。そして、この本会議場で皆さんが、この演壇に立ちまして堂々の意見を発表しておりました。緊張感があふれておりました。市会議員の皆様も、それぞれ皆さんの発言にしっかりと受け答えをしながらの議論が交わされたというそのような本会議でありました。わらすっこ議会、「わらすっこ」。小学生議員もおれば、中学生議員もおる。高校生議員もいる。それぞれ立場によって、思いあるいは意見、それは異なることは当然であります。しかし、共通しておったのは夢・希望・可能性さらには私は非常にうれしく思ったのは、遠野への熱い思いといったようなものもしっかりと踏まえながらの皆さんの意見でありました。小学生議員は、小学生議員なりの。中学生議員は、中学生議員としてしっかりと足元を見ながら。そして高校生議員は、わらすっこ支援委員会の方にも入ったという中で、堂々の正に自らの意見を自らの言葉の中で話しておったということになったわけでありませう。そういった中におきまして、小学校議員にも、中学校議員にも、高校議員にも、そしてまたこれは私が好んで使っている言葉でありますし、いつも何かのときにはこの言葉を引用させて頂いております。私自身も好きな言葉であります「夢無きものに、理想なし。理想無きものに計画なし。計画無きものに、実行なし。実行ないものに、成功なし。ゆえに夢無きものに成功なし。」という言葉があります。皆さんには、夢、理想、あるわけがあります。いまの発言した__本会議場で発言したこれに向かって、しっかりと自分なりの計画を持ちながら、そしてまた多くの、お父さんお母さん、家族の皆さん、地域の皆様にいろいろ相談をしながら、一つ一つそれに階段を上っていくとなれば、必ず自らの夢・希望・可能性といったものに近づく。あるいはそれを手に入れることができるということができるといふことになろうかと思っておりますので、この本会議場で、素晴らしい経験をした。これをしっかりと受け止めながら、また再びこの本会議場で、議論を交わすことができることを私もワクワクしながら楽しみに、皆さまが、わらすっこ議員から本物の__いま、こちらにおります市会議員、あるいはもっと

もっと夢・希望・可能性に挑むようなそのような形で成長することを心から期待を申し上げます、総括的な私のコメントとさせていただきます。意見、提言、本当にありがとうございました。

○議長（浅沼幸雄君） 私たち遠野市議会議員18名は、一昨年、平成30年10月の公職選挙法による市議会議員選挙において、当選した18名でございます。その18名を代表しまして、私からも3点申し上げます。まず第1点目、きょうはわらすっこ議員の皆さん、おそらく緊張__まだ緊張していることと思います。そういった中で本当に頑張ってくれたなど、ありがたく思っております。人間が生きていくときに__ちょっと難しい言葉になるかもしれませんが、変換点、どっかで__振り返ってみると、どっかで自分が考え方が変わったとかという事は、人生に何度かあると思います。あとで振り返ってみたときに、きょうが皆さんの変換点になる日になるのではないのかなと感じました。是非、きょうを機会に益々皆さん、頑張っていたきたいというのが、まず1点。2点目は、むかし、アメリカの大統領でジョン・F・ケネディという、若くて大統領になって__暗殺されて亡くなったんですけれども、この方が大統領になった時に言った言葉、「アメリカが自分に何をしてくれるのかではなく、自分がアメリカのために何ができるのかを考えてほしい。」国民に向かってそのように申し述べました。これを、このまま借りて言うのであれば、遠野市が自分たちに何をしてくれるのかではなく、自分たちが遠野市のために何ができるかを、私たち議員も含めて考えてみましょう。3つ目であります。これから14文字の言葉を皆さんにプレゼントします。「上見て進み、下見て暮らせ。」上見て進みというのは、勉強でも仕事でも満足することなく、上には上があるんだと。それを目標にして進むと。下見て暮らせは、自分たちの生活。ああなんか、お金ないな、食べ物、食べたいもの食べられないな。と思うのではなく、まだまだお金のない人たちや食べ物に困っている人たちいるんだという気持ちで生活をしてください。以上、3つ申し上げます、私のきょう、わらすっこ議会を開催していただいたし、そして、皆さんのいろんな意見を聞いた感想とさせて

いただきます。ありがとうございました。

発議案第1号「わらすっこの夢と希望のために遠野市全体で応援するまちづくり宣言」

○議長（浅沼幸雄君） 次に日程第4、発議案第1号「わらすっこの夢と希望のために遠野市全体で応援するまちづくり宣言」の採択についてを議題といたします。提出者の説明を求めます。わらすっこ議員 14番 菊池夢乃君。

〔わらすっこ議員14番 菊池夢乃君登壇〕

○わらすっこ議員14番（菊池夢乃君） 令和元年度遠野市わらすっこ議会発議案「わらすっこの夢と希望のために遠野市全体で応援するまちづくり宣言」私たちは、この遠野という郷土に生まれ、家族・地域・市民の皆さんに支えられ、そして、愛されています。きょうは、遠野市わらすっこ条例第7条に規定されている、「意見を表明し、その意見が尊重される権利」を具体化する機会として、「遠野の未来を創造してみよう～私の夢と希望～」をテーマに様々な視点から意見を発表させていただきました。遠野市民憲章前文の「永遠の日本のふるさと遠野」は、私たちも大切にしていきたい将来像であります。私たちはいま、私たちにできることに挑戦し、さらに将来先頭に立って、この遠野の郷土・自然・文化・財産を継承していきたいと心から思っています。こよなく遠野を愛すること、いわゆる地域への愛着心は、大人の皆さんから教えていただいた大切な心の一つとして、忘れてはならないものだ認識しているところであり、遠野は日本、世界に誇れる豊かな自然と伝統が息づく日本のふるさとです。この恵まれた環境に感謝し、伝統を継承しつつ、新たな時代を創造・発展していけるよう未来に向かって一歩ずつ進んで行くことを宣言します。わらすっこ議員の皆さん、わらすっこの夢と希望のために遠野市全体で応援するまちづくりを宣言することにご賛同をお願いします。令和2年2月22日 わらすっこ議会議員 代表 菊池夢乃。

○議長（浅沼幸雄君） これより、質疑を許します。質疑ありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。これより討論に入り

ます。

反対討論ありませんか。

〔「討論なし」の声あり〕

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。これより発議案第1号についてを採決いたします。採決は、表決システムにより行います。

本案は先ほど説明のあったとおりで良いと考え、宣言を採択することに賛成のわらすっこ議員は1の賛成ボタンを、反対のわらすっこ議員は2の反対ボタンを押してください。

（ 投票・ボタン押下 ）

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはないですか。

〔「なし」と呼ぶ声あり。〕

○議長（浅沼幸雄君） 以上で表決を締め切ります。採決を確定します。

（ 採決結果確認 ）

○議長（浅沼幸雄君） 賛成全員であります。よって、発議案第1号は原案のとおり可決され、宣言は採択されました。

○議長（浅沼幸雄君） 以上で本日の日程は、全部終了いたしました。

○議長（浅沼幸雄君） 閉会をわらすっこ議員 13番 菊池早姫君。お願いします。

〔わらすっこ議員13番 菊池早姫君登壇〕

○わらすっこ議員13番（菊池早姫君） これで令和元年度わらすっこ議会を閉会いたします。

○議長（浅沼幸雄君） 本日は、これにて閉会いたします。皆様、お疲れ様でした。

終了 午後3時42分

令和元年度遠野市わらすっこ議会会議録（付録）

会期日程（1日間）

日次	月日	曜	会議別	開議時刻	日 程
第1日	2月22日	土	本会議	午後2時	開 会 1 諸般の報告 2 議会の進行及び会期について 教育民生常任委員長報告 3 意見発表 (わらすっこ議員1番から14番まで) わらすっこ議員からの発表と 市議会議員からの講評、感想等コメント 4 意見への総括 市長、教育長、議長から 5 発議案・宣言決議 提案理由の説明、質疑、討論、採決 閉 会

【発議案】

番号	件名	付託委員会	議決月日	議決結果
1	「わらすっこの夢と希望のために遠野市全体で応援するまちづくり宣言」の採択について	—	2月22日	原案可決 採 択